

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

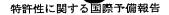
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 PCT-0114	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/11278	国際出願日 (日.月.年) 03.09.2003 優 先日 (日.月.年) 23.10.2002
国際特許分類 (IPC) Int Cl' H04	N 5/91
出願人 (氏名又は名称) 三洋電機材	成式会社
法施行規則第57条 (PCT36条) 2. この国際予備審査報告は、この表紙 3. この報告には次の附属物件も添付さ a X 附属書類は全部で 2 X 補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙(を含めて全部で 3 ページからなる。 れている。 ページである。 礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範PCT規則70.16及び実施細則第607号参照) したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
ト 電子媒体は全部で	ように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー
第IV欄 発明の単一性	報告の基礎 生又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 の欠如 (2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付 献及び説明 文献
国際予備審査の請求書を受理した日	国際予備審査報告を作成した日

国際予備審査の請求書を受理した日 19.01.2004	国際予備審査報告を作成した日 13.10.2004
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 5 C 9 1 8 5
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	鈴木 明
米尔仰!八山匹良が関一」日を留るの	電話番号 03-3581-1101 内線 3541

国際出願番号	PC	т/	JР	03	/1	1	2 7	,

第1欄 報告の基礎
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。
□ この報告は、 語による翻訳文を基礎とした。 それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。 □ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 □ PCT規則12.4にいう国際公開 □ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査 2.この報告は下記の出願書類を基礎とした。 (法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され
2. この報告は下記の田顧皆類を基礎とした。(伝第6朵(FCTT 4朵)の規定に基づく即刊に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
LD 出願時の国際出願書類
X 明細書
#########################
X 請求の範囲 項、 出願時に提出されたもの 第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第 6-13 第 項*、08.07.2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの 項*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
X 図面 第 1-8 ページ/図*、
□ 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。 □
3. 区 補正により、下記の書類が削除された。 明細書 第 ページ 区 請求の範囲 第 項 図面 ページ/図 配列表(具体的に記載すること) のの 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) のの
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
明細書 第 ページ 請求の範囲 項 図面 ページ/図 配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。



国際出願番号 PCT/JP03/11278

第V欄 新規性、進歩性又は産業_ それを裏付ける文献及び語		、ての法第12条(PCT35条(2))(- CEVIN JUIT
1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	6-13	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	6-13	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	6-13	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲6-13について

文献1: JP 05-110979 A (オリンパス光学工業株式会社) 1993.04.30 全文,全図

は、当該技術分野における一般的技術水準を示す文献であって、生成された伸長画像信号をモニタに出力し、メモリに保存された圧縮画像信号を記録指示に応答して記録媒体に記録する技術が記載されているが、読み出し手段によって読み出された電荷に基づいて第1画素ブロックに対応する第2画素ブロック毎に画像データを生成し、生成された画像データを特定順序で第2画素ブロック毎に圧縮する技術は、国際調査報告で列記した文献のいずれにも、記載も示唆もされていない。